

どうぶつ実験

講師 中村雅治氏

日常、私達が消費している薬品、化粧品などの商品の陰では膨大な数の動物実験が繰り返されています。情報開示が一番遅れているのもこの分野です。「科学の進歩のために必要」と、知ってるつもりになっていませんか？中村さんは在学中から動物実験に疑問を持ち、企業研究者として本格的な動物実験に従事した経験から反対運動に入った専門家です。動物実験システムの実態は？身近で直接の私達にはね返ってくる問題ではないでしょうか？

東大工学部卒 遺伝子工学専攻。現在企業研究者として勤務。
NPO法人アニマル・ライツ・センター 動物実験部門理事

交流会～フリートーク～

5月28日(土) 18時～21時

参加料：千円(軽食を用意します。)

講演会～ビデオ放映～

「どうぶつ実験、知ってるつもり」

5月29日(日) 10時～12時半

入場無料

会場：さざんか会館2階アクティブとっとり

鳥取共生動物市民連絡協議会主催

連絡先：0857-24-5883

多くの動物実験研究者が
「無駄な実験、重なる実験」
が多過ぎる事実を認めている。
H17年度、鳥取大学は保健所収容動物の
「動物実験転用」を廃止した。
余剰動物が処分されず実験用に
転用される限り、研究者は無駄な実験を
省こうとする努力もしないだろう。